

タイ、「暁の家」に実際に行ってみてー「心の豊かさ」とは

書いた人 M.Y さん

今回のタイ研修を通して想像していた以上の多くの事を経験させていただくことができ、そして学ぶことができました。どの体験も貴重でしたが、事前レポートで自分が想定していた目的、「山岳民族の人々、そして彼らの生活・現状を知り理解すること」と「中野さんをはじめとする山地民の人々を支援している方々の活動や思いを知ること」の2つに対し、このレポートで振り返りたいと思います。

山岳民族の人々の生活を一番直接感じられたのはアカ族の方々の家でのホームステイでした。私は、元村長さんのお家に滞在させていただきました。このホームステイをとても楽しみにしていましたが、実際にお家を訪問するまでは電気や水道などの環境・設備などがまだまだ発展していないのではと考えていました。しかし、テレビやスマートフォンといったマスメディアが揃っており、私たちの生活とあまり変わらないというのが最初の印象でした。(もちろん、ウィマー家(元村長さんの一家)が恵まれていて、まだまだ設備が整っていない地域・家もあるかもしれませんが。)そして、何よりも驚いたのが、現地の方々のおもてなしの精神と見ず知らずの私たちを歓迎してくれる温かさです。これを感じたのは、ウィマー家だけでなく「暁の家」やメーコックファーム財団、「太陽の家」のナレ先生のお家で昼食をいただいた時など様々な場面でしたが、とにかく溢れんばかりの



料理と家の畑でとれた野菜・果物で歓迎され、驚きました。山地民の方々は公用語のタイ語と違う独自の言語をもっているため、英語はもちろん年配の方はタイ語も通じませんでした。しかし、ウィマー家の皆さんは終始笑顔で接してくださり、言語はわからなくてもジェスチャーなどでなんとなくコミュニケーションをとることができ、「ああ、言語が通じるかそうでないかはさほど重要ではなくて、相手を思いやる気持ちが大切なのだ」と感じさせられました。ただ、少し間違っているかもしれませんが、3つだけアカ語を教えてくださいました。それは、「グラフマデー(ありがとう)」、「ヨークー(おいしい)」、「ヨサーロールジャデー(お元気で)」でした。

どれも感謝の気持ち、相手を思いやる気持ちが込められた素敵な言葉なのでたどたどしいけれどウィマー家の方々に伝えることができ、嬉しく思いました。上の写真は、元村長さんのお母さまで、帰り際「ちょっと待ってて」というような感じで私たちのもとへ来てバナナを渡してくださったときの写真です。お母さまの素敵な笑顔と心遣いが一目でわかる私のお気に入りの一枚です。

次に、やはりなんといっても中野さんの活動・お話から得られるものはたくさんでした。右の写真は「暁の家」で育てている野菜や果物を私たちに説明してくださっている時のものです。次から次へとたくさんのお話を目にし、この土地でこんなにもたくさん種類・量の作物を育てることは年月だけでなく労力も非常に必要なことだと実感しました。そして、「暁の家」に到着した日の夜に中野さんにお話を伺えるチャンスがあり、中野さんの「できないことは何もない、やってみせる」というような考え方を改めて学ぶことができました。実際にコーヒー畑を訪問させていただいて、こんな急斜面でコーヒーを生産しようというのは想像していたよりも大変な



ことで驚きましたが、お話を伺い、他の人が聞いたならそれは難しいのではと思うようなことも中野さんにとってはそうではなく、「諦める」という選択肢がないということがわかりました。そんな中野さんだからこそ、今までの「暁の家」での子どもたちの支援、そして現在のコーヒー作りをやり遂げられているのだと納得しました。また、今回の研修の最終日に訪問させていただいたアークどこでも本読み隊の堀内佳美さんが立ち上げなさった施設の1つ「太陽の家」を訪問させていただき、堀内さんからも中野さんと同様の前向きさを感じました。そして、中野さんも堀内さんもタイの山地民の方々のためにできることはないか、そのために何をすべきなのか深く考えられて活動なさっているところが共通点



だと感じました。堀内さんの力強い話し方は、とても全盲であることを感じさせませんでした。そして、左の写真を見ると、堀内さんと現地のナレ先生方の信頼関係が分かります。お互いに信頼しあって、助け合っ、この活動をなさっている関係性を目の当たりにし、本当に感動しました。

ルンアルン・プロジェクトを通して今回実際にタイへ行き、研修をさせていただいて本当に1週間1日1日学ぶことが多く、充実したものとなりました。私は、現地の人との交流を通し、皆さんは私たちよりずっと「心の豊かさ」をもっていて、それは「物質的な豊かさ」をもつことよりずっと大切であるし、「生かされている」ということに感謝しなければいけないと感じさせられました。そして、自分がこれから何をしたいかまだはっきりわからないけれど、興味のあることは何でも「挑戦していくこと・諦めないことの大切さ」を中野さんや堀内さんなど今回出会った方々から学び、自分のこれからの生活に生かそうと思いました。最後に、今回の研修の機会を与えてくださった中野さんをはじめとするすべての方への感謝の気持ちを忘れないようにしようと思います。